

宮永岳彦記念美術館だより

2018 7 月



発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室

宮永岳彦
**グラフィック
デザイン** 展

2018年 5月23日(水) - 11月25日(日)

◆◆◆ 展示作品より今月の一点 ◆◆◆

《全日空「ジェットプロップ フレンドシップ」ポスター》



鮮やかなイエローの背景に強いまなざしの女性が印象的なこの作品は、宮永が約15年間にわたって制作した全日空のポスター作品の中でも、その鮮烈さでひときわ存在感を放っています。宮永は、全日空のポスターにはこのような強い意志と知性を感じさせる美しい女性を描き、当時まだ少なかった航空機を利用する顧客に訴えかけました。

このポスターは、全日空が1961(昭和36)年から1973(昭和48)年までローカル線の主力機として運航した「フォッカーF-27 フレンドシップ」機の広告と思われます。本展示では宮永の手による全日空のポスターを計9点展示しています。各時代の飛行機の形状など、飛行機マニアの方々にも楽しんでいただけるかもしれません。

印刷物 制作年不明 105.0×74.0cm

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

7月の休館日: 2日(月) 9日(月) 17日(火) 23日(月) 30日(月)

グラフィック × 全日空 ALL NIPPON AIRWAYS



《日ペリ航空ポスター》
1955年

日本ヘリコプター輸送(日ペリ航空、現・全日空)の宣伝担当者が宮永の仕事場を訪れたのは1955(昭和30)年の秋でした。日ペリ航空はまだ設立4年目で、当時の担当者が「窮乏のどん底」と言うほど、運航以外にかけられる予算の少ない若い会社でした。それでも担当者はエレガントさと縦横無尽な荒さが同居する宮永独特の作風にほれ込み、ポスターの制作を

市民ギャラリーのご案内 入場無料

KEI 押し花倶楽部 押し花展

7月14日(土)~7月16日(月)
10:00~17:00 (最終日16:00まで)

会員全員で助け合い築きあげた20回目の展示会です。それぞれが思いを込めた美しい押し花をお楽しみください。

山口博 風景写真展

7月18日(水)~7月22日(日)
10:00~18:00 (最終日15:00まで)

素晴らしい自然の光景から自分の求めている空気感を表現しました。撮影時に私が感じた思いをお伝えします。

南が丘写友会 40回記念 季節の写真展

7月24日(火)~7月29日(日)
10:00~17:00 (初日13:00から 最終日16:00まで)

季節の写真展の40回を記念して市民ギャラリーにて開催します。会員の山岳・風景・スナップ等力作を展示します。

2018.8月の市民ギャラリー 展覧会の予定

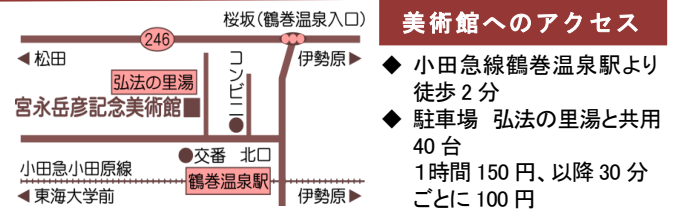
阿木二郎さんのポスターでたどるくずはの家の20年
8月15日(水)~8月19日(日)

くずはの家 ~石ころ絵教室~ 8月18日(土)

子どもスケッチ作品展 8月21日(火)~8月26日(日)

美術館 ワクワク探検 vol.24 ~七宝焼き体験教室~
(詳細は広報はだの7月15日号にて) 8月25日(土)

※7月1日(日)より2019年1月分までの予約を受け付けています。



依頼します。ライバル会社だった日本航空が外国人操縦士を採用していたのに対し「日本の空は日本人の手で」という社の精神を話すと、宮永は「よっしゃ、描こう」と快諾し、いきなり絵具を手に取り、エレガントな女性が飛行場に立っている下絵を描きあげたといえます。

利益よりも情熱に動かされて全日空との仕事を始めてから約30年後、宮永は東京の全日空ホテルのために油彩画の大作「黎」と「翔」を制作します。同2作は、宮永芸術の結晶ともいべき最晩年の傑作で、翌年の宮永没後も長い間全日空ホテルのロビーで輝きを放ち続けました。